

# 県政に関する質問から(本会議の質問・答弁)

本会議では、3日間にわたって9人の議員が一般質問を行い、県政が直面する課題について、県民の視点に立った議論を展開しました。QRコードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、各議員の全ての質問の動画を視聴できます。

12月10日 一般質問(要旨)



自民議連  
たけはら 哲 議員  
〈広島市安佐南区〉

## 宿泊税における関係者との合意形成の状況

**問** 宿泊税について、県民や市町等から、使途や課税免除等の論点に対し、どのような意見があり、税導入への理解は十分得られたのか伺う。

**答** 観光施策の拡充・強化財源を安定的に確保するため宿泊税を導入することとしたが、県民等からは、学校行事の課税免除や低料金宿泊者への配慮、宿泊事業者の徴収事務の負担軽減のほか、税導入に反対する意見や観光振興への活用に期待する声等があった。こうした意見を踏まえた見直しにより一定の理解が得られたと考えており、引き続き丁寧に意見を伺い、円滑な導入に向け準備を進めていく。

## その他の質問項目

- 若者減少及び人手不足対策
- 外国人介護人材から選ばれる広島県
- 地方独立行政法人広島県立病院機構に係る中期目標及び中期計画
- 被爆・終戦80年における取組
- 花き生産における産地育成の強化
- 中山間地域における農業の維持



民主県政会  
うえの かんじ 議員  
〈広島市安芸区〉

## 広島県水源地域保全条例の制定

**問** 県民に安全・安心な水を届けるため、水源涵養機能等を持つ森林や水源地の不適切な土地取引を防止する必要があるが、県として、他県のように水源地域保全条例を制定してはどうか。

**答** 本県では、森林法に基づく開発許可制度等に加え、特に重要な河川上流部等を水源かん養保安林に指定し、森林開発等を規制している。土地所有者が開発行為を行う際には申請内容を厳正に審査、指導しており、条例を直ちに制定する必要はないと考えるが、今後の国や他県の動向を注視し、水源を守るための施策がより効果的に機能するよう取り組む。

## その他の質問項目

- 河川内の樹木伐採
- 三原市の産業廃棄物最終処分場
- 瀬野川水系のPFASへの県や東広島市の対応
- PFASに係る住民への健康調査等
- 再造林対策
- 森林認証材の利用



公明党  
おかべ ちづる 議員  
〈広島市西区〉

## ギャンブル等依存症対策

**問** ギャンブル等依存症は回復可能な病気であり、適切な情報の普及による病気への理解促進、相談窓口や専門医療機関への早期アクセスを促す工夫が肝要だが、依存症の発生・進行・再発予防に今後どう取り組むのか。

**答** 県では、県立総合精神保健福祉センターでの当事者や家族からの相談対応や専門医療機関の整備等に取り組んできた。今年度から、専用ポータルサイトの開設による正しい知識の普及と早期の支援や、医療従事者を対象とした研修会の開催による人材育成を進めており、今後も切れ目のない支援体制の確保に努めていく。

## その他の質問項目

- ギャンブル等依存症当事者及び家族を支援する団体との連携
- LGBTQへの理解促進
- ファミリーシップ制度の導入
- 液化天然ガスの安定的な供給確保
- 高校生への主権者教育の推進
- 広島県総合グラウンド建設時の史実継承



12月11日 一般質問(要旨)



自民議連  
やまがた しのぶ 議員  
〈広島市安佐北区〉

## 子宮頸がんワクチンの接種促進

**問** 子宮頸がんの原因と考えられるウイルス感染はワクチンで予防できるが、副反応等の不安から未接種の方が多く、接種促進に向けた集中的な働きかけや、接種機会を逃した方へのフォローが必要ではないか。

**答** 令和6年度末が期限の「キャッチアップ接種」については、今年度上半期に接種勧奨やSNSによる情報提供等を実施しており、国の接種期間の1年延長方針を踏まえ、下半期も集中的な啓発に取り組む。また、今後も接種機会を提供するため、「キャッチアップ接種」のさらなる期間延長を検討するよう様々な機会を通じて国に働きかける。

## その他の質問項目

- トップスポーツ団体等と連携したスポーツ推進
- 平和教育の充実
- 大阪・関西万博を契機とした平和発信
- 自主防災組織の維持・強化
- 働きながら子育てしやすい社会環境の整備
- 小中連携教育・小中一貫教育の推進



自民議連  
かのう たかひこ 議員  
〈府中市・神石郡〉

## 広島の食文化の発展

**問** 「おいしい！広島」プロジェクトを通じて広島の食文化の発展には、県民が県産農水産物の魅力や価値を再認識し、それらを使った料理を日常的に楽しむ機運を高める必要があるが、今後どう取り組むのか。

**答** 県民が広島の食文化に誇りを持つためには、広島のおいしさを自ら体験すること等が重要であり、様々な食の認知・体験機会を創出している。また、「おいしい！広島」を気軽に体験できる企画の展開や、観光客の感動がSNS等を通じて県民にも伝わることで、日常の中に広島食を楽しむ場が積極的に取り入れられるよう取り組む。

## その他の質問項目

- 県内の食資産の情報発信
- 「おいしい！広島」を推進する組織体制
- 気候変動を踏まえた持続可能な農業生産
- 中小企業におけるリスクイングの推進
- 中小企業に対する支援の在り方
- 県東部地域の南北方向をつなぐ道路整備



広志会  
きたはら ただただ 議員  
〈呉市〉

## 養殖カキの生産安定化に向けた取組

**問** 養殖カキの生産量が激減し、ここ10年程度、県の目標の2万トンに達しておらず、ぐにでも対策を講じるべきだが、これまでの取組の認識と今後の取組を伺う。

**答** 近年、天然採苗の不調や高温によるへい死等の影響で生産量は目標を下回る年が続いており、母貝いかだの適切な配置等による採苗安定化や水温センサーを設置した水深調節等によるへい死対策を実施している。また、海底耕うんや栄養塩類対策、カキ殻超過堆積対策にも取り組んでおり、これらを着実かつ計画的に進め、課題解決を図り、カキ養殖の安定生産を実現する。

## その他の質問項目

- 瀬戸内海を活用した地域活性化
- 企業撤退への認識と今後の対応
- 基幹企業撤退後の跡地利用
- 今後の産業振興施策
- 広島県の観光施策
- 新病院の整備計画

